

(その 121) 施設の人の暖かさと優しさに元気をもらいました (2015.10)

7月初旬、川崎区富士見町に住むTさん夫婦が別居することになりベトナムに住む一人娘のUさんが急遽帰国して説得しましたが、駄目でセンターに相談に見えました。

所長が詳しく聞きますとひとり暮らしになる母(89才)の住まいと任意後見契約と引越しを急いでお願いしたいとのことでした。

7月7日に公証役場に相談に行き、8日には住まい探しに、大宮の有料老人ホームと高津区のシェアハウスせせらぎの視察に同行して回りました。

7月13日に任意後見契約をすると同時に住まいはシェアハウスせせらぎに決め、入居するため引越しをしました。

Uさんから「一時はどうなるかと思いましたが相談センターのおかげで助かりました」とお礼にみえられました。

その後市役所へ行き、住所変更、せせらぎ入居料の引き落としのための口座作りなどを一気に勧め7月14日にUさんはベトナムに帰りました。

シェアハウスせせらぎに入所したTさんは「なんでも相談できる友達もでき、施設の人の暖かさと優しさに励まされ腰の痛みもなくなりとても元気に楽しく過ごしています」と感謝されました。

施設では12月に90歳になるTさんの誕生祝いを計画していますが「今から楽しみにしています」と明るい笑顔が印象的でした。